



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimuj@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

国立天文台教育研究職公募 理論研究部上級研究員

1. 上級研究員（従来の助手）1 名
2. (1) 理論研究部
(2) 東京都三鷹市
3. 天文学の理論的研究
4. 全国の理論研究者との関係を保ちつつ、観測天文学も視野に入れて、理論天文学の研究を推進する若手研究者を求めます。全国天文学研究者の共同研究、共同利用を推進するという共同利用研究所の性格を理解し、天文学データ解析計算センターを中心とするスーパーコンピュータ等による共同利用にも積極的にかかわっていただける方を望みます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 5 年、5 年後に資格審査の結果、任期のない主任研究員になることが可能です。
6. 大学院修士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書、(2) 研究歴（これまでの研究内容の概要）、(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと）および主要論文（3 編以内）別刷、(4) 研究計画書（理論研究部の一員として共同利用にどのように関わっていくのかについての抱負を含む）、(5) 本人について意見を述べられる方 2 名の氏名と連絡先、または推薦書、(6) E-mail アドレス
8. 2004 年 5 月 28 日（金）必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台長 海部宣男

- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台理論研究部 主任 杉山直

Tel: 0422-34-3741

E-mail: naoshi@th. nao.ac.jp

10. 封筒の表に「理論研究部上級研究員人事応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営会議において行います。

国立天文台教育研究職公募 ALMA 推進部助教授・上級研究員

1. (A) 助教授 1 名
(B) 助教授または上級研究員（従来の助手）1 名
(C) 上級研究員（従来の助手）1 名
2. (1) ALMA 推進室
(2) 東京都三鷹市
3. アルマプロジェクトの推進
4. (A) 平成 16 年度から日本が建設に参加する ALMA（アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計）において、必要とされる位相安定度を達成するために、局部発振器システムの開発・製造を指導的に進める助教授を求めます。関連分野での装置開発の経験があることが望ましい。(B) 平成 16 年度から日本が建設に参加する ALMA（アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計）において、アンテナに搭載する受信機フロントエンドシステムの開発・製造および大規模なインテグレーションの仕事を指導的に進める助教授、または同仕事に意欲的に取り組む上級研究員を求めます。関連分野での装置開発の経験があることが望ましい。(C) 平成 16 年度から日本が建設に参加する ALMA（アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計）において、アンテナに搭載する受信機フロントエンドシステムの開発・製造および大規模なインテグレーションの仕事を意欲的に取り組む上級研究員を求めます。関連分野での装置開発の経験があることが望ましい。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 上級研究員の場合は 5 年、5 年後に資格審査の結果、任期のない主任研究員になることが

可能です。助教授の場合は任期はありません。

6. 上級研究員の場合、大学院修士課程修了、またはそれと同等以上の方。助教授の場合、大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方。
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと) および主要論文 (3編以内) 別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先, または推薦書, (6) E-mail アドレス
8. 2004年5月28日(金)必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 海部宣男
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台 ALMA 推進室長 石黒正人
Tel: 0422-34-3765
E-mail: ishiguro@nro.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「アルマプロジェクト人事応募書類在中」と朱書きし, 郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営会議において行います。(A)(B)(C)のいずれかの応募かを明記してください。(併願も可能です)

国立天文台教育研究職公募 天文情報公開センター上級研究員

1. 上級研究員 (従来の助手) 1名
2. (1) 天文情報公開センター
(2) 東京都三鷹市
3. 天文暦計算
4. 国立天文台では, 暦象年表・理科年表暦部に代表される天体暦の編集刊行を実施しています。この業務を遂行するとともに, 天体暦の改良および関連する天文学の研究を推進する, 意欲ある若手の研究者を求めます。暦計算の経験の有無は問いませんが, 天体力学を含む理論天文学もしくは数値シミュレーションの研究実績がある方が望ましい。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 5年。5年後に資格審査の結果, 任期のない主任研究員になることが可能です。
6. 大学院修士課程修了, またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと) および主要論文 (3編以内) 別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先, または推薦書, (6) E-mail アドレス
8. 2004年5月28日(金)必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 海部宣男
(2) 〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山
野辺山宇宙電波観測所長 坪井昌人
Tel: 0267-98-4382
E-mail: tsuboi@nro.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「野辺山宇宙電波観測所上級研究員人事応募書類在中」と朱書きし, 郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営会議において行います。

国立天文台教育研究職公募 野辺山宇宙電波観測所上級研究員

1. 上級研究員 (従来の助手) 1名
2. (1) 野辺山宇宙電波観測所
(2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山
3. 電波天文学 (ミリ波干渉計)
4. 野辺山宇宙電波観測所は, 45 m 電波望遠鏡や6素子ミリ波干渉計を主要観測装置として共同利用を行いつつ観測的研究および技術開発を進めています。本公募では, ミリ波干渉計の運用を行い観測的成果を上げ, 2007年頃から部分運用開始が予定されているALMAの速やかな観測成果につなげる若手研究者1名を求めます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 5年。5年後に資格審査の結果, 任期のない主任研究員になることが可能です。
6. 大学院修士課程修了, またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと) および主要論文 (3編以内) 別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先, または推薦書, (6) E-mail アドレス
8. 2004年5月28日(金)必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 海部宣男
(2) 〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山
野辺山宇宙電波観測所長 坪井昌人
Tel: 0267-98-4382
E-mail: tsuboi@nro.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「野辺山宇宙電波観測所上級研究員人事応募書類在中」と朱書きし, 郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営会議において行います。

国立天文台教育研究職公募 岡山天体物理観測所上級研究員

1. 上級研究員（従来の助手）1名
2. (1) 岡山天体物理観測所
(2) 岡山県浅口郡鴨方町
3. 光学赤外線天文学
4. 岡山天体物理観測所の現在の共同利用を支援しつつ、将来計画を大学と協力して具体的に推進する上級研究員を公募する。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 5年、5年後に資格審査の結果、任期のない主任研究員になることが可能です。
6. 大学院修士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴（これまでの研究内容の概要）, (3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと）および主要論文（3編以内）別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先、または推薦書, (6) E-mail アドレス
8. 2004年5月28日（金）必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 海部宣男
(2) 〒719-0232 岡山県浅口郡鴨方町本庄 3037-5
岡山天体物理観測所長 吉田道利
Tel: 086-254-6265
E-mail: yoshida@oao.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「岡山天体物理観測所上級研究員人事応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営会議において行います。

国立天文台教育研究職公募 光赤外研究部助教授

1. 助教授 1名
2. (1) 光赤外研究部
(2) 当面東京都三鷹市。ハワイ観測所の勤務も経験していただく。
3. 光学赤外線天文学
4. 光学赤外線天文学分野ではハワイ観測所のすばる望遠鏡等の共同利用を推進し、研究成果を順調に上げている。一方、次世代地上超大型望遠鏡建設の議論や、技術的検討が本格化しつつあり、またスペース計画の具体化にも大きな関心が寄せられている。このような状況のもと、ハワイ観測所と連携して観測研究をリードし成果を上げるとともに、世界の動向を見据えて次期計画の策定・具体化で指導的役割

を担う助教授を求めます。

5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴（これまでの研究内容の概要）, (3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと）および主要論文（3編以内）別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先、または推薦書, (6) 他薦の場合には推薦書の他に、前記事項 (1)~(4) の概要がわかる書類, (7) E-mail アドレス
8. 2004年5月28日（金）必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 海部宣男
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
光赤外研究部 主任 安藤裕康
Tel: 0422-34-3521
10. 封筒の表に「光赤外分野助教授人事応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営会議において行い、外国籍の人の場合は法令に基づき任期を定める場合があります。

中央大学理工学部物理学科物理教員

1. 教授または助教授 1名（専任講師の場合もある）
2. (1) 物理学科, (2) 文京区春日
3. 広い意味の物性実験。既存の分野のみならず、これから発展が期待される新分野も含む。生物、生体、生命にかかわる実験をする人の応募も歓迎する。
4. 当該分野の研究および大学院・学部・全学教育を担当。学生実験も担当していただく。
5. (1) 2005年4月1日
(2) 任期：なし
6. 応募資格：年齢50歳以下。
7. 提出書類：○履歴書 ○業績リスト（主要論文別刷3編） ○今までの研究概要（2,000字以内） ○今後の研究計画と教育に対する抱負（2,000字以内）
8. 2004年6月末必着
9. (1) 〒112-8551 文京区春日 1-13-27
中央大学理工学部物理学科 主任 石井 靖
(2) 問合せ先：物理学科 石井 靖
Tel: 03-3817-1780
E-mail: ishii@phys.chuo-u.ac.jp
10. 封筒に「公募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付のこと。応募書類は原則として返却しない。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

京都大学理学部宇宙物理学教室教授

1. 2003年7月（第96巻7号）
2. 長田哲也（名古屋大学理学部助教授）
3. 2004年4月1日

国立天文台電波（ALMA）助手

1. 2003年10月（第96巻10号）
2. 浅山信一郎（大阪府立大）
3. 2004年3月1日

研究助成

平成16年度 東レ科学技術賞・研究助成の候補者推薦のお願い

東レ科学振興会から次の概要が届きましたのでお知らせいたします。応募用紙は日本天文学会までご請求下さい。

I. 東レ科学技術賞（概要）

1. 候補者の対象……天文学に関する分野で、下記に該当するもの
 - (1) 学術上の業績が顕著なもの
 - (2) 学術上重要な発見をしたもの
 - (3) 重要な発明をして、その効果が大きいもの
 - (4) 技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献したもの
2. 科学技術賞……1件につき、賞状、金メダルおよび賞金500万円、2件前後
3. 候補者推薦件数……天文学会から2件以内

II. 東レ科学技術研究助成（概要）

1. 候補者の対象……天文学に関する分野で、基礎的な研究に従事し、その研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究を活発に行っている若手研究者
2. 研究助成……総額1億3千万円、1件3千万円

程度まで10件程度

3. 候補者推薦件数……天文学会から2件以内

III. 天文学会必着日（I, IIとも）……平成16年9月6日（月）学会締め切り

※推薦書用紙は学会事務所まで（6月中旬）

※各推薦書用紙は、ホームページからもダウンロードできます（平成16年6月中旬頃から）。

URL: <http://www.toray.co.jp/tsf/index.html>

研究会・集案案内

平成16年度国立天文台水沢観測所特別公開のお知らせ

下記のとおり、国立天文台水沢観測所の施設公開を行います。木村記念館をはじめ、普段公開していない施設の公開や、研究成果の紹介、講演会などを予定しております。入場無料です。構内に駐車可能です。皆さんの来所をお待ちしております。

日時 平成16年6月5日（土）10:00～16:00

場所 国立天文台水沢観測所

岩手県水沢市星ガ丘町2-12

内容 VERA アンテナ等施設公開、研究紹介、講演会、ビデオ上映ほか

講演会 11:00～12:00

講師：本間希樹（国立天文台上級研究員）

演題：「銀河のせせらぎ—電波望遠鏡で追う天の川の流れ」

問い合わせ先：国立天文台水沢観測所

Tel: 0197-22-7111（代表）

会務報告

早川幸男基金受給者募集要項

早川幸男基金の申請締切りは2004年6月10日です。

以前の申請用紙を用いたものは認められません。詳細は、天文学会のホームページ <http://www.asj.or.jp/> の「早川幸男基金」の部分をご覧ください。募集対象期間は2004年7月1日～9月30日の間です。

若手天文学研究者の皆様の積極的な応募をお待ちしております。

早川幸男基金選考委員会

(社)日本天文学会へ2004年1月10日~3月22日までの間に入会された方、退会された方をお知らせします。

正会員入会者 (13名)

井上裕彦	東京工大・大学院(在学)／JAXA・宇宙科学研究本部	長 俊成	東北大・大学院理(在学)
菊川真以	東京農工大・大学院(在学)	竹内友岳	名大(在学)
田村さやか	山口大・大学院理(在学)	小宮 悠	北大・大学院理(在学)
濱口佳之	新光電機	翔山隆志	アスシオン大学天文台
中尾 敏	(株)オークラ	大月祥子	東大・大学院理(在学)
上松佐知子	茨城大・大学院理(在学)	三井晴可	京大(在学)
		西山正吾	名大・大学院理(在学)

準会員入会者 (11名)

大朝由美子	神戸大・大学院	大西宗博	東大・宇宙線研究所
村井慎治	県立八幡工業高校(在学)	川田和正	東大・宇宙線研究所
山村守國	佐野富士光機(株)	郁芳随徹	金沢大・理(在学)
堀越幸一	(CSK)	吉田 薫	東大(在学)
薄田竜太郎	理化学研究所	徳丸賢治	東京都昭島市在住
伊藤 周	東大・大学院理(在学)		

移籍会員 (準→正2名)

羽馬有紗	東大・大学院理(在学)	萩野正興	国立天文台
------	-------------	------	-------

正会員退会者 (27名)

弓 滋	相馬照仁	金 正	久志野彰寛	赤峰幸徳	夷藤雅純	井上一正	檜崎廣太郎	津川元彦
古澤彰浩	松峯公二	吉田慎一郎	井上大輔	河野 誠	田窪信也	松井孝博	宮崎真行	大浜伸之
忠内可奈	梅田和義	森尾一徹	野呂文人	為永辰郎	高柳和智	白庄司貴之	土居明広	昭和信孝

準会員退会者 (30名)

浅草克己	伊賀小弓里	黒田智一	関 舜衛	田中 裕	肘井俊広	保里十志男	堀井雅代	松岡朋宏
松藤和弘	丸山稜人	森 正寿	森谷 一	家田章正	中澤武弥	菱木克己	根岸 潔	中山喜貴
高柳悦夫	平田泰世	中本達也	平田栄夫	白坂隆之介	森 好平	山崎高幸	貝沢高士	岡 洋子
富永慎弥	山田 卓	城田和哉						